

かつしか 区議会だより

主な内容 2・3面…一般質問 4面…可決された議案ほか

No.262 令和6年（2024年） 7月25日発行 葛飾区議会 〒124-8555 葛飾区立石5-13-1 ☎3695-1111 FAX5698-1543

第2回臨時会

4月	26日	本会議（議案の付託、議決等） 常任委員会（保健福祉、総務） 議会運営委員会
----	-----	---

第2回定例会

6月	5日	本会議（一般質問等）
	6日	本会議（一般質問、議案の付託等）
7・10～12日		常任委員会（保健福祉、建設環境、文教、総務） 特別委員会（都市基盤整備、危機管理対策）
14・17・18日		特別委員会（区民サービス向上対策、危機管理対策、都市基盤整備）
20日		議会運営委員会
21日		本会議（議案の議決等）



水元公園のハス池

第2回
臨時会

住民税均等割非課税化世帯等重点支援給
付金関連の補正予算を全会一致で可決

第2回
定例会

こち亀記念館条例を全会一致で
可決

第2回臨時会では、令和6年度一般会計補正予算（第1号）など区長提出議案2件が可決されました。
第2回定例会では、7名の議員から区政一般質問が行われました。
また、令和6年度一般会計

可決された意見書（要旨）

今回の定例会では次の意見書3件を可決し、関係機関に送付しました。

（件名の下の分は意見の分かれた意見書です。各会派の賛否は4面に掲載）

災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書

本区議会は政府に対し、次の事項のとおり、積極的な推進を強く求める。

①情報発信者や情報発信機器の事前登録等により、情報の信頼性を担保し、現場からの正確な情報を収集し活用する情報連携環境を整備すること。②IoTセンサーやドローンを活用して、リアルタイムでの国と地方自治体の災害情報共有体制を整備すると同時に、適切な情報分析と迅速な対策を促す気象防災アドバイザーの地方自治体への配置を支援すること。③正確な情報を発信する公的情報サイトや政府認定のアプリケーション等、国民への普及を強力に推進すること。

聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書

本区議会は政府に対して、我が国の更なる高齢化の進展を踏まえて、認知症の予防とともに、高齢者の積極的な社会参画を実現するために、次の事項について聴覚補助機器等の積極的な活用を促進する取組を強く求める。

①難聴に悩む高齢者が、医師や専門家の助言のもとで、自分に合った補聴器を積極的に活用する環境を整えること。②耳が聞こえにくい高齢者や難聴者と円滑にコミュニケーションを取れる社会の構築を目指し、行政等の公的窓口などに、合理的配慮の一環として聴覚補助機器等の配備を推進すること。③地域の社会福祉協議会や福祉施設との連携のもと、聴覚補助機器等が必要とする人々への情報提供の機会や場の創設等、補聴器を普及させる社会環境を整えること。

地域における「いじめ・いじめ防止」の制度拡充等を求める意見書 分

本区議会は政府に対して、地域の実情に合わせた速やかな制度の導入に加え、育児と多様な働き方やライフスタイルの両立の推進のために、次の事項についての取組を強く求める。

①実施事業所が不足する地域では、十分な受入れ先を確保するための施策を講じること。試行的事業の職員配置や設備基準は、認可保育所並みの水準となつていて、認可保育所等の実施事業所が不足している地域においては、制度の導入推進を図るために職員配置や設備基準を満たすための財政的措置を含む支援策を講じること。②自治体によって1人当たりの利用時間の上限を増やせるようにすること。試行的事業では、補助基準上の1人当たり利用時間の上限は月10時間としているが、それぞれの自治体における乳幼児数や地理的特性によって、利用時間のニーズにばらつきが生じることが想定される。こうした中、全国の市区町村で実施する給付制度とすることを前提としながら、自治体によって地域差が生じる点についてどのように考えるのか、といった論点も含め、利用時間の在り方について検討すること。③障害児や医療的ケア児を受け入れられるようにすること。障害児や医療的ケア児とその家族を支援する観点や、保護者の事情により通園ができない乳幼児についても家庭とは異なる経験や家族以外と関わる機会を創出する観点から、「こども誰でも通園制度」においても障害児や医療的ケア児の受入れを認めること。④重層的な見守り機能が發揮されるような制度設計とすること。「こども誰でも通園制度」を地域資源の一つとして整備し、「こども誰でも通園制度」と合わせて、地域に多様な子育て支援サービスを整え、潜在的待機児童の解消も視野に入れた重層的な見守り機能が發揮されるような制度設計とする。

可決された議案等

議案名下の分は意見の分かれた議案（各会派の賛否は4面参照）

令和6年第2回臨時会

【区長提出議案 2件】

予 算 1件

▼令和6年度一般会計補正予算（第1号）
歳入歳出にそれぞれ34億7千251万円を追加し、予算総額を2千433億2千251万円とする。

一部を改正する条例 1件

▼特別区税条例

地方税法の改正に伴い、令和6年度の区民税に係る特別税額控除について定める。

令和6年第2回定例会

【区長提出議案等 23件】

予 算 2件

▼令和6年度一般会計補正予算（第2号）分
歳入歳出にそれぞれ41億5千450万3千円を追加し、予算総額を2千474億7千701万3千円とする。

▼令和6年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）分
歳入歳出にそれぞれ1千857万2千円を追加し、予算総額を49億6千857万2千円とする。

制定する条例 1件

▼こち亀記念館条例

こち亀記念館を設置する。

一部を改正する条例 6件

▼特別区税条例

職権による区民税及び軽自動車税の減免について定めるほか、所要の改正をする。

▼事務手数料条例

4面に続く

区政を聞く一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録（8月下旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー（区役所3階）、図書館などでご覧になれます。

日本共産党葛飾区議会議員団

物価高騰から暮らしと営業守れ
プライバシー保護の避難所体制

物価高騰対策

電気代の高騰は、中小企業・飲食店にとって深刻である。個人事業主、法人事業主への現金給付事業を、給付額を上げて第3弾を実施すべき。

答現金給付実施の考えはないが、社会経済状況を注視し必要な支援を行う。

問低所得世帯へのエアコン設置助成は、いったん自己負担させる償還払いでは日常生活に支障を来す。区と事業者の間で支払いが済む制度にすべき。

答購入費用の持ち合わせがない方のために販売店が助成対象となる費用をいったん負担し、本区から直接助成金を受領することも可能としている。

※他の質問項目 奨学金の返済支援制度 など

子どもの権利条例に基づく子どもの施策

問子ども総合センターと金町子どもセンターの子育てひろばを子ども未来プラザと同様に休日も開館すべき。

答休日開館ではなく、保護者に寄り添った支援や課題のある家庭への早期支援などを充実させていきたい。

※他の質問項目 児童館の復活 など

防災対策

問能登半島地震では、全国からトイレトレーラーの支援が行われた。平時時はイベントなどでも活用できる。本区でも配置してはどうか。

答配備については、国や広域自治体として方向性を示すなど、検討を進めることが相応しいと考えている。

問避難所であっても人権やプライバシー保護は最優先である。世帯ごとのプライバシー保護のためのテントが必要だ。段ボールベッドやテントの確保のために年次計画を作るべき。

答避難所におけるプライバシー空間の確保など、受援体制の構築や備蓄の充実に向けた取り組みを進めていく。区民に早く正確な情報を伝達するためにも防災ラジオを配布すべき。

答現段階で防災ラジオを配布することは考えていないが、電気用品の確保の在り方は課題であると考えている。



大規模火災が発生した輪島朝市のはいり口

※他の質問項目 液状化対策 など

立石駅周辺の再開発と庁舎移転計画

問立石駅北口再開発は、もはや破綻した計画である。都市計画決定そのものの見直し、庁舎の在り方を含めた計画の抜本的な見直しが必要だと思ふがどうか。その新たな計画を全地権者で合意を取り付ける責任があると思うがどうか。

答都市計画と庁舎計画を見直すことや、これについて改めて全地権者の合意を取り付ける考えはない。

※他の質問項目 事業費の公表 など

高砂団地建替え跡地等

問団地内の郵便局の存続を求める声が上がっている。郵便局がなくなれば、日常生活は成り立たない。郵便局を残す手だてを住民に示すべき。

答東京都や郵便局と連携しながら、要望を踏まえ引き続き協議していく。

※他の質問項目 跡地の活用 など

みらい葛飾(生活者ネット・無所属)

誰もが安心して暮らせる
持続可能な葛飾を

一人一人に必要な支援を届けるため

の取組

問さまざまな支援制度は、申請主義が基本であるため、自分で情報にアクセスすることが難しい人たちは制度を利用することができない。区民一人一人の状況に応じて、支援の情報を漏れなく案内できるシステムの導入を検討してほしい。区の考えを伺う。

答引越しにより必要となる手続きをその方の状況に応じて案内できる機能を持った窓口支援システムを導入する予定である。自分で情報にアクセスすることが難しい方々に支援の情報を漏れなく案内できるシステムについては、その窓口支援システムの案内機能を応用、発展させるなどにより実現できるか検討していく。

※他の質問項目 給付金の給付方法 など

脱炭素推進の取組

問2050年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指した取り組みについて、昨今の気候変動の状況を考えると計画の前倒しが必要ではないかと考える。また、より高い削減目標に取り組みすることも検討してほしい。区の見解を伺う。



緑豊かな水元公園

答COP28において、パリ協定の1.5度目標達成に向けては、現在の進捗状況ではまだ隔たりがあることが明らかになった。本区は目標達成に向けて確実に成果を上げている。引き続き、令和12年度の削減目標の達成に向けて、さらなる省エネルギー

化や再生可能エネルギーの導入をはじめとした各取り組みをより一層推進していく。また、本区の削減目標については、技術革新などを注視しつつ地球温暖化対策実行計画の改定に合わせ検証していく。

問各課契約や附合契約による電力の契約について、再生可能エネルギーへの切り替えはすぐにも取り組むことが可能と考える。区の見解を伺う。

答各課が契約している低圧電力は、順次、切り替えていく。一方で、再生可能エネルギー電力は通常電力よりも電力価格が高くなる可能性があるため、複数施設による共同購入など、新たな方法も検討し進めていく。

製品プラスチックの資源化・再商品化

問実施予定の製品プラスチックの資源回収・活用において、収集後の再商品化は、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律の第32条で進めるのか、第33条で進めるのか。その方法を選ぶ上での区の見解を伺う。

答第32条の再商品化では、本区が進めているマテリアルリサイクルとならない可能性があることから、この方法を選択することはできない。法第33条の場合、国の認定に時間がかかるなど早期の実施が難しくなる。よって、本区では事業者との協働で独自の再商品化ルート構築を検討している。

※他の質問項目 コストの削減 など

自由民主党議員団

リスクマネジメント強化と
地域コミュニティ維持の支援を

適正な事務執行のためのリスクマネジメントと職員のメンタルヘルス

問適正な業務執行を継続するために、職員一人一人がリスクマネジメントの意義を十分に理解し職務に全力で取り組んでいく必要があると考えるが、区の見解を伺う。

答本区では、リスクマネジメント制度を導入し研修を実施するなど、さまざまな方策に取り組んでいる。リスクマネジメントの取り組みを推進するには、職員一人一人が、一つのミスにより区に対する信頼を損ね、行政運営に支障を及ぼす事態に発展することを認識する必要がある。今後、意識を高めた上で、区民第一で職務に取り組む職員育成に努めていく。

※他の質問項目 職員のメンタルヘルスの維持・向上 など

社会の変化をとらえた地域コミュニティ維持のための支援策の拡充

問自治会活動の担い手不足は深刻な課題と考えるが、職員による人的支援について区の見解を伺う。

答現在、19の地区センターに地区センタ―長を配置し、地域からの相談や要望を受け止め、必要に応じて所管する部署につなぐなど、地域と区のパイプ役を担っている。しかしながら、現在の自治町会を取り巻く複雑化した課題は、地区センタ―長だけで課題解決に結びつけるには厳しい状況にある。そのため、中期実施計画の地域力向上支援では、職員がコーディネーターの役割を担い、地域課題の解決に取り組んでいく。

※他の質問項目 外国人の増加傾向を踏まえた自治会活動の支援 など

少子化対策のさらなる拡充

問若い世代の方々が、不安や孤独感を感じることなく、子育て本来の楽しさや喜びを感じられるような施策の展開が必要であると考えているが、区の見解を伺う。

答子育ての孤立感や不安感を感じやすい社会的背景の中で、子育てをする中で得られる楽しさや喜びを感じられる機会を提供したり、発信したりすることが、支援を進める上で重要だと考えている。現在、子ども未来プラザでは、親子で楽しめる講座やイベントを多数実施しており、さらなる施策の展開につなげていく。

※他の質問項目 伸び伸びと遊べる環境づくり など

魅力ある観光・文化施策の展開

問区民が文化・芸術に親しみ、気軽に参加できる機会を創出し、地域文化・芸術を振興していくための基本方針の策定を進めるべきと考えるが、区の見解を伺う。

答今年度中に学識経験者の意見なども聞き、関係者との議論を深め、文化芸術分野における基本方針を策定していく。

※他の質問項目 柴又の観光拠点施設など

放課後支援の充実と公園整備による地域活性化を

今後の放課後支援

問待機児童解消に向けたかつしかプラズ事業と並行し、学童保育、わくわくチャレンジ広場などの事業の在り方を整理し、より効果的な事業展開を図る必要があると思うがどうか。

答子供たちに安全で充実した環境を提供するために、より効果的な事業を構築することは不可欠であると認識している。今後は、全ての児童がより充実した放課後を過ごせるよう事業の再構築を含めて検討していく。

※他の質問項目 学童保育の待機児童数の現況 など

部活動の地域移行

問地域移行については、地域の活動団体をはじめ、地域の方々も指導に関われるような形で進めていただきたいと考えるが、見解を伺う。

答これまで、多くの地域の皆さまに支えられながら、部活動を運営してきた。今後、協議会での議論を踏まえ、地域の指導者や活動団体に指導に関わっていただく仕組みについてしっかりと検討を進めていく。

※他の質問項目 地域クラブ活動の管理運営委託の内容 など

今後のスタジアム建設の検討

区政を聞く一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録（8月下旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー（区役所3階）、図書館などでご覧になれます。



新宿交通公園のミニSL

問本年度実施する基礎調査のスケジュールや実施方法について示されたい。
答建築基準法や都市公園法等の制約を整理するほか、周辺道路の交通量や騒音の調査などを行う。さらに、国内外でのスタジアムの先行事例を基に、スポーツ振興をはじめ、防災・環境といった機能面についても調査をしていく。本調査は、本年8月頃から着手し、令和7年3月に完了する予定である。

※他の質問項目 持続可能なスタジアム整備の検討

学校給食における有機食材の活用
問持続可能な社会の実現に向けた啓発の一環として、学校給食における有機食材の活用を推し進めるべきと考えるが、区の見解を伺う。
答学校給食で有機食材を提供することは、子供たちが持続可能な社会について考えるきっかけの一つになり、意義のある取り組みと考えている。活用に当たっては、学校の意向や食材納入業者の状況も把握した上で、実施に向けて検討を進めていく。

※他の質問項目 有機食材の活用状況

答リニユールに当たっては、トミカやプラレールなどの世界観を体験できる公園整備の検討を進めている。このことにより、集客による地域活性化も期待されるとともに、本区の魅力向上が図られ、子育て世代の流入も期待できる。引き続き、本区内外に誇れる魅力あふれる公園の整備に向けて取り組んでいく。

※他の質問項目 駐車場の確保 など

葛飾区議会公明党
人口減少社会を踏まえた子育て世代の経済的負担の軽減策を
少子高齢化、人口減少への対応
問国や東京都の施策と連動させながら、さらなる子育て世代の経済的負担の軽減策を講じていただきたいと考えるが、区の見解を伺う。
答本区では、出産支援として、独自に5万円のかつしか出産応援給付金の支給を開始したほか、移動支援として子供2人乗せ自転車や多胎児用ベビーカーの購入費用等の助成を行っている。また、本区独自に家庭で子供を保育する保護者も保育所等を利用できる一時保育について、その利用料の一部を助成する制度を新設した。こうしたさまざまな取り組みを実施することで、子育てに係る経済的負担の軽減を図っている。今後も社会経済状況や区民ニーズ、国や都の動向を踏まえた上で、さらなる経済的負担の軽減策を検討していく。

問小学校におけるエデュケーション・アシスタントの配置の効果について伺う。また、さらなる教員の負担軽減を図りながら、教員が本来の教育活動に専念できる環境を整えることで、子供たち一人一人の個性や能力を最大限に引き出す教育の実現を求めるが、教育委員会の見解を伺う。
答エデュケーション・アシスタントの配置により、複数の目で児童を見守ることによる教員の負担の軽減のみならず、児童へのより細やかな支援や一人一人に応じた学習指導、授業

準備や教材研究等の教員本来の教育活動の充実などの成果が報告されている。教育委員会では、教員が子供たちと向き合う時間を十分に確保することに、質の高い教育を実現していくことは大変重要と考えており、本来の教育活動に専念できる環境の整備に向けて今後も取り組んでいく。

※他の質問項目 学校トイレの完全洋式化 など

睡眠の重要性の積極的な周知と魅力ある公園整備を
睡眠の重要性
問児童・生徒へ睡眠の大切さを保護者も含めて知ってもらうため「かつしか早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」のより一層の活用が図れるよう工夫していくべきと思うが、区の見解を伺う。また、保護者に睡眠の大切さをより深く知ってもらうため「かつしか家庭教育のすすめ」の中で睡眠の重要性について記載し、さらなる意識啓発につなげてほしいと思うが、区の見解を伺う。
答「かつしか早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」の中で、朝食摂取の大切さに加え睡眠に関するアドバイスも掲載しているが、今後は睡眠の大切さをより伝えられるよう、内容の充実について検討していく。また、より一層活用されるよう、本区の広報紙などによる周知の充実に努めていく。「かつしか家庭教育のすすめ」は、3年に一度見直しを実



「かつしか早寝・早起き、朝ごはん食べようカレンダー」と「かつしか家庭教育のすすめ」

施しており、現在配付している冊子では、睡眠に関するものとして、スマホやタブレットの使い方が及ぼす影響について触れているが、今回の改訂の際には睡眠の重要性についてさらなる意識啓発につながるよう内容について検討していく。

※他の質問項目 睡眠の重要性と眼育 など

堀切・小菅・東堀切地域の公園整備
問堀切水辺公園のさらなる魅力アップについて、区の見解を伺う。
答本区では、これまでも春には菜の花秋にはコスモスの摘み取りイベントを行うなど、その魅力を生かした堀切水辺公園の認知度向上の取り組みを行っている。また、多くの方が来園する堀切菖蒲園内において、堀切水辺公園で撮影した河川や、スカイツリーを背景としたハナショウブの写真の掲示など、堀切水辺公園の魅力を発信している。今後も、自然環境が残り、見晴らしの良い河川敷にある公園としての特性を生かし、堀切菖蒲園との連携強化など、さらなる堀切水辺公園の魅力アップを目指す取り組みを進めていく。

※他の質問項目 堀切地域における公園確保 など

他の質問件名 防災・減災対策、子宮頸がん検診におけるHPV検査単独法、窓口におけるコミュニケーションの向上、ケアリーバーの自立支援

かつしか区民連合

適切な公文書の管理と協働によるまちづくりの推進を

公文書管理と区史

問行政の意思決定過程が記録されていない事例が散見される。行政の文書主義についてどう考えるか伺う。また、情報公開条例の「情報」と結びつけ、公文書として明確に位置付けする必要があると考えるがどうか。
答行政の事務は文書で処理することを

原則とする文書主義によるものと考ええる。現在検討中の公文書管理条例の目的は区政に関する区民の知る権利を保障し、本区の諸活動について区民に説明する責務を果たしていくことである。条例において、公文書という用語を定義する予定である。

※他の質問項目 文書保管体制 など

民泊対策とインバウンド

問民泊などの近隣住民の住環境の保障が急務である。早急に現状を把握し、民泊の規制なども含めた条例制定に向けて検討するべきだがどうか。
答民泊の近隣住民の住環境の確保については対策が必要と認識している。今後、他自治体の施策などを調査・研究しながら、条例の制定やガイドラインの改正など実効性のある対策を検討していく。

※他の質問項目 民泊の営業への指導体制 など

みどりと花のフェアかつしかとまちづくり

問フェアをイベントのみで終わらせず、環境政策やまちづくりを進める契機にし、区内のさまざまな資源の整備や活用を検討するためのイメージを共有するとともに、何を後世に残すのか、レガシーについて意識をすべきと考えるがどうか。
答フェア開催により、都市緑化や気候変動対策などの実証試験、花や緑を介した参加者間の絆づくりなどを通じて地域課題の解決につなげ、未来に向け成長するみどりと花のまちかつしかの実現を目指す。区民や団体事業者とイメージを共有し、協働による強いコミュニティの形成や花の拠点づくり、実証試験の実用化がレガシーとなるよう取り組んでいく。

※他の質問項目 環境・緑化に携わる人を育てる取り組み など



レクリエーションボッチャ教室

災害対策
問今年度、福祉部に災害要配慮者支援担当課が設置されたが、意義を伺う。
答個別避難計画の実効性の向上や、策定したBCPに基づいた訓練を通じて、福祉施設の災害対応力向上を図っていくために災害要配慮者支援担当課を設置した。避難行動要支援者の個別避難計画については、具体的な避難先との結び付けや実際の避難支援者の確保などの課題がある。

※他の質問項目 福祉避難所の運営体制 など

障害者理解と合理的配慮

問パラリンピック・デフリンピックの機会に、健常者も含めたパラリンピックの普及とともに障害者理解・合理的配慮の推進を図るべきだが、区としてどのように取り組むのか伺う。
答障害者スポーツの推進は、障害者が自主的かつ積極的にスポーツ活動に取り組めるよう、ボッチャやブラインドサッカーの普及をはじめ、指導員の養成や活用などを葛飾区中期実施計画に位置付け、計画的に取り組んでいく。体験会などを通じて、多くの方々が交流し意見交換等を行うことは、障害者理解の促進や合理的配慮の推進に向けて有意義と考える。

※他の質問項目 学校現場での合理的配慮 など

他の質問件名 協働による孤独・孤立対策

次の定例会は9月開催予定です

可決された議案等

議案名下の分は意見の分かれた議案
(各会派の賛否は下欄参照)

1面下段からの続き

戸籍謄本等のコンビニ交付に係る手数料を定めるほか、所要の改正をする。
▼災害弔慰金の支給等に関する条例
東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律の厚生労働省関係規定の施行等に関する政令の改正に伴い、規定の整備をする。
▼河川流水占用料等徴収条例
流水占用料等の額を改める。
▼区立学校設置に関する条例
渋江小学校と木根川小学校を統合し、校名を東四つ木小学校とする。
▼体育施設条例
東新小岩運動場を新設する。
▼幸田小学校外壁改修(塗装) 工事請負
▼都市計画道路補助第276号線(細田北整備(その1)及び排水施設(その1) 工事請負
▼八剱橋橋梁架替(その10) 工事請負
▼東金町七丁目公園(仮称) 新設及び防災活動拠点整備工事請負
▼白鳥四丁目公園改修及び防災活動拠点整備工事請負
▼通電火災防止対策用感震ブレーカーの買入れ

全国市議会議長会表彰

去る6月21日、全国市議会議長会表彰伝式が行われました。
当日、表彰を受けた議員は、次の6名です。
「議員30年以上」
工藤 きくじ 議員
むらまつ 勝康 議員
「議員10年以上」
伊藤 よしのり 議員
峯 岸 良 至 議員
うてな 英 明 議員
かわごえ 誠一 議員

渋江小学校及び木根川小学校の統合に伴う備品の買入れ

清掃事務所建築工事請負契約の変更

清掃事務所電気設備工事請負契約の変更

清掃事務所給排水衛生設備工事請負契約の変更

清掃事務所空調設備工事請負契約の変更

都市計画道路補助第276号線(隅田橋・補助第279号線(新金線) 整備(その4) 及び排水施設(その2) 工事請負契約の変更

宝木塚小学校既存校舎等解体工事請負

その他 1件

人権擁護委員候補者の推薦に関する意見

人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を聞く。(区長の推薦に異議なし)

【議員提出議案 3件】

意見書 3件

意見書の要旨は一面に掲載

災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書

聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書

地域における「こども誰でも通園制度」の制度拡充等を求める意見書分

議員の派遣

地方自治法第100条第13項及び葛飾区議会会議規則第122条第1項の規定により、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式と、被爆79周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に、議員を派遣することに決定

結果の出した請願

請願名下の分は意見の分かれた請願
(各会派の賛否は下欄参照)

採 択 1件

子どもの居場所づくり及び子ども食堂支援に関する請願

不 採 択 8件

西小菅小学校のプールの活用を求める請願分

健康保険証廃止の中止を政府に求める請願分

夏季休業中の水泳教室の実施に関する請願分

入札の適格性と再委託の妥当性の検証を求める請願分

政治資金改革に関する請願分

金町小学校のプールを当面解体しないことを求める請願分

特別委員会設置に関する請願分

子どもたちにとってより良い水泳教育を求める請願分

お 知 ら せ

議会運営委員会の委員構成が次のように変わりました

(◎委員長 ○副委員長 ◇理事)

◎筒井 たかひさ ○小山 たつや
◇梅沢 とよかず ◇米 山 真 吾
◇中 村 しんご ◇小 林 ひとし
大 森 ゆきこ 高 木 信 明
清水 こういち 細 木 まこと
かわごえ 誠一

▼総務委員会の委員構成が次のように変わりました

(◎委員長 ○副委員長)

◎秋 家 聡 明 ○江 口 ひさみ
大 森 ゆきこ 峯 岸 良 至
小 山 たつや 米 山 真 吾
中 村 しんご 小 林 ひとし
舟 坂 と も むらまつ 勝康

▼保健福祉委員会の委員構成が次のように変わりました

(◎委員長 ○副委員長)

◎清水 こういち ○齊 藤 大 介
高 木 信 明 筒井 たかひさ
山 本 ひろみ かわごえ 誠一
片 岡 ちとせ 沼 田 たか子
おおにし 順子

▼会派の結成(5月27日付)

新たに、みらい葛飾(生活者ネット・無所属)が結成されました。構成員は次のとおりです。(6月21日現在)

(◎幹事長 ○副幹事長)

◎小 林 ひとし ○沼 田 たか子
小 川 ゆうた 夏 目 佳代子

意見の分かれた案件 (○賛成、×反対)

件名		会 派 名 () 内は会派所属議員数										議決結果
		自民 (12)	公明 (8)	区民 (6)	共産 (4)	みら (4)	無※1 (1)	無※2 (1)	無※3 (1)	無※4 (1)	無※5 (1)	
予 算	令和6年度葛飾区一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	可決
	令和6年度葛飾区国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）											
請 願	西小菅小学校のプールの活用を求める請願	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	不採択
	健康保険証廃止の中止を政府に求める請願	×	×	×	○	×	×	×	○	×		
	夏季休業中の水泳教室の実施に関する請願											
	入札の適格性と再委託の妥当性の検証を求める請願	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	
	政治資金改革に関する請願	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	
	金町小学校のプールを当面解体しないことを求める請願	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	
	特別委員会設置に関する請願	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	
	子どもたちにとってより良い水泳教育を求める請願	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	
意見書	地域における「こども誰でも通園制度」の制度拡充等を求める意見書	○	○	○	×	○	○	○	×	○	可決	

自民＝自由民主党議員団、公明＝葛飾区議会公明党、区民＝かつしか区民連合、共産＝日本共産党葛飾区議会議員団、みら＝みらい葛飾(生活者ネット・無所属)、無＝無所属

区議会だよりに記載の会派等の構成議員をお知らせします(令和6年6月21日現在)

会 派 名	構 成 議 員 名								会 派 名	構 成 議 員 名
	秋 本 とよえ 梅沢 とよかず 筒井 たかひさ	秋 家 聡 明 大 森 ゆきこ 峯 岸 良 至	安西 まさのぶ 工 藤 きくじ	池田 ひさよし 齊 藤 大 介	伊藤 よしのり 高 木 信 明				無所属(※1)	おおにし 順子
自由民主党議員団									無所属(※2)	つ た えりな
葛 飾 区 議 会 公 明 党	岩田 よしかず 下山 しんいち	牛 山 正 細 木 まこと	江 口 ひさみ 山 本 ひろみ	小 山 たつや	清水 こういち				無所属(※3)	舟 坂 と も
									無所属(※4)	みずま 雪 絵
か つ し か 区 民 連 合	うてな 英 明 米 山 真 吾	大 高 拓	門 脇 翔 平	かわごえ 誠一	中 村 けいこ				無所属(※5)	むらまつ 勝康
日本共産党葛飾区議会議員団	片 岡 ちとせ	木 村 ひでこ	中 村 しんご	三小田 准 一						
	みらい葛飾(生活者ネット・無所属)	小 川 ゆうた	小 林 ひとし	夏 目 佳代子	沼 田 たか子					

広報委員会

委員長 伊藤 よしのり
副委員長 下山 しんいち
委員 大 森 ゆきこ
委員 細 木 まこと
委員 門 脇 翔 平
委員 木 村 ひでこ
委員 小 川 ゆうた
委員 杉 立 敏 也
(区議会議務局長)

次の「かつしか区議会だより」は11月発行予定です